

第1回 東京湾・相模湾の港湾における地震・津波対策検討会議 議事概要

日時：平成23年9月29日（木）10：00～12：00

場所：海運クラブ

○本会議では、津波を想定するための津波シミュレーションや主要な検討課題について、事務局からの説明をもとに意見交換を行うとともに、東日本大震災の被災を受けた自治体や臨海部立地企業から具体的な課題認識、現在の取り組み状況などについて報告があった。

○各委員からは、以下のような議論があった。

- ・東京湾エリアでは、特に産業活動やまちづくりとの関連が大きな要素となるため、背後地域の特性を考慮した防護ラインのあり方や地震・津波対策のあり方を考えていく必要がある。
- ・臨海部の護岸は築堤50年を経過し、老朽化が進んでいる。特に臨海部の埋立地には重化学工業が多数立地しているため、これらに何かがあれば、非常に危険な状態となる。
- ・人命を必ず守るということは非常に重要。様々な地震・津波対策について、具体の実現方法まで検討を行う必要がある。

○本日の会議での議論を踏まえ、今後、複数回の会議を行い、12月中を目途に地震・津波対策に係る基本方針を策定する予定。

以上